

今シーズンのインフルエンザ HA ワクチン出荷を開始 ～流行前の“備え”を全国へ、感染症対策を支える～

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：石田 郁雄）は 2026/27 シーズン向けインフルエンザ HA ワクチンの出荷を開始しました。

当社は 1972 年より、新潟県五泉市の五泉事業所においてインフルエンザ HA ワクチンを製造しています。毎年、WHO の推奨株を踏まえ厚生労働省が選定した製造株を用いて製造し、全国の医療機関へ供給しています。

インフルエンザ(*1)は、例年 12 月～3 月頃に流行し、1 月末～3 月上旬に流行のピークを迎えますので、12 月中旬までにワクチン接種を終えることが望ましいと考えられています。インフルエンザは毎年多くの方が罹患する感染症であり、特に高齢者や基礎疾患を有する方においては重症化リスクが高いことが知られています。ワクチン接種は、インフルエンザの感染予防や重症化リスクの低減に有効な手段の一つです。

今後も、流行期を前に必要なインフルエンザ HA ワクチンを安定的に供給することで、社会の感染症対策を支えてまいります。

デンカはこれからも、「化学の力で世界をよりよくするスペシャリストになる」というパーパスのもと、世界に誇れる化学で、人々の暮らしと社会に貢献し続けます。



以 上

*1 インフルエンザ：厚生労働省 インフルエンザ（総合ページ）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html

【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 電話：03-5290-5511